

令和5年度 組織重点目標一覧

係名	具体的目標	達成水準	達成状況	達成状況評価
農林水産係	適正な森林管理に努め、地域の特性を生かした持続性のある第1次産業経営者の育成を図るとともに、農地の利用集積・集約化を進めることによって効率的かつ安定的な第1次産業経営を促進する。	1 担い手の増加を促進する計画人数 2名 2 地域おこし協力隊の新規採用者数 2名 3 利用権設定面積の増加面積 2ha 4 利府梨振興に係る品種更新及び新植・改植支援品種更新本数 200本 5 森林経営管理権集積計画策定に向けた経営管理意向調査 対象者数 50名	1 新規就農者は1名であったが、地域おこし協力隊初の就農者のため、引き続き支援を実施していく。 2 令和5年度は、新たに2名採用したが、年度途中で1名が退職した。今後、現在の協力隊のケアに努めていくとともに、首都圏での相談会などに積極的に参加し、協力隊の募集を行っていく。 3 梨農家25名に対し、主力品種である「あきづき」107本を含む8品種197本の更新を行った。目標には達しなかったものの、高新品種が早生品種から晩生品種まで多岐に渡っており、今後、農繁期の分散と長期の販売が期待できる。 4 利用権設定面積は1.9ha増加に留まったため、今後、農地の幹旋やマッチングなど、受入環境の整備を加速させていく。 5 令和5年度は、土砂災害警戒区域に指定されている山林の所有者98名に対して意向調査を実施しており、その内容を受けて、次年度以降、現場調査を実施していく。	B
農水施設係	生産基盤である農道、ため池、堰等用排水施設や漁港施設の整備や定期的な施設の点検を実施し、適切な維持管理に努め、苦情や要望等にも迅速に対応する。また、大雨など災害に備え、ため池等の用水調整を随時行い被害の軽減を図る。	1 明神沢溜池改修工事の年度内完成 2 浜田・須賀漁港機能保全計画による点検を行い点検判定表に基づき修繕の実施 3 用排水施設や漁港施設での事故件数 0件 4 農業用施設の安全点検の実施	1 明神沢溜池について、本年度の実施設設計書作成業務において洪水吐きの流量を計算したところ、既設の構造物より大幅に大きくなったため、工事計画の見直しを行い本年度内の完成が難しくなった。今後、新たな計画に基づき工事を実施する。 2 保全計画に基づき段差の擦り付けを実施した。また、定期点検も実施した。 3 管理する施設において事故の発生が0件であった。 4 農業用施設において、降雨時前に巡視点検を行った。	B
農業委員会 事務局 農地係	遊休農地の活用を推進するとともに、農地の利用集積・集約化を進めることにより、効率的かつ安定的な農業経営を促進する。	1 利用権設定面積の増加 2ha増加 2 遊休農地の面積軽減 1ha軽減	1 開発などにより農地が減少したものの、利用権設定面積は37haから6ha増の43haとなった。 2 遊休・荒廃農地面積は、11haから1.5ha減の9.5haとなり軽減した。所有者等への農地利用意向調査に伴い、農地の保全管理が増えたことにより、軽減につながった。	A